

企画名	きのこ観察会
実施団体	団体名 特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森 問合せ先 川瀬美幸 TEL: 090-8495-0050 Email: demii02250114@gmail.com ホームページ: http://www.konbukuroike.com
目的	きのこの多様性や、きのこ森のかかわりやきのこを通して森の変化を観察する。
日時	2021年10月17日(日) 10:00~12:00
プログラム・概要・ルート等	きのこ観察会(外部講師2名、内部講師2名) 参加者集合後、スタッフ挨拶、講師紹介、注意事項後に2班に分かれて、講師と参加者が園路を散策しながらきのこを探す。(それぞれの班に安全管理でスタッフが同行)きのこをそれぞれ採取する。園路から戻り、管理棟にて採取したきのこの同定や記録を行う。講師からのきのこの見分け方や生態などを学ぶ。
参加対象	小学生以上(小学生は保護者同伴)
参加人数	一般参加 13名 (大人9名、小学4名) スタッフ 24名 (会員20名、外部講師2名、大学実習生2名)



きのこ観察会は今回で21年目を迎えました。感染拡大の影響で一般の参加者さんを受け入れるか悩みましたが、準備は観察会実施を前提に考えて進めてきました。幸い9/30緊急事態宣言が解除されて感染者数も減少したために実施に踏み切りました。

しかし、天気予報では当日は雨!参加者さんには事前に連絡を取り、寒さ対策や雨具の準備を整えてもらいました。またキャンセルも事前に募りましたが、それでも観察会に参加するという強い意志を持った参加者さんが13名来てくださいました。

園路では星型の可愛らしいきのこが雨の中たくさん見つかりました(ヒメツチグリの仲間)。きのこの下には落葉がマットのように広範囲につながり、よく見ると菌糸が落葉のあいだを縫うように入り込んでいる様子が観察できました。落葉を分解して栄養にするきのこの存在が分かりました。講師からは、菌糸がきのこの本体で星型の部分は胞子を飛ばすための器官で子実体(しじつたい)と呼ぶ、という説明を受けました。



採集後、きのこをテーブルに並べて種類やそれぞれの生態の話しを楽しく教えていただきました。きのこはまだまだ分かってない事も多く謎が多い生きもの、という事を聞いて参加者の皆さんも興味津々の様子でした。無事に観察会を実施できて本当に良かったです。



参加者や実施団体の感想	雨の中での開催でしたが、なかなか味わい深い体験でした。きのこの生態は不可思議の世界で、共存して森を活かしていることに感動しました。地味な存在のキノコですが、奥が深いなと言うのが第一印象でした。また、講師から余り研究対象になっていないとの話を聞き、ますます神秘的に感じました。キノコに陽が当たり、知るきっかけづくりに観察会を続けて頂きたいです。
-------------	---